

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	平内町			代表者名	船橋 茂久
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	017-755-2111
担当者役職	係長	担当者氏名	田中 友樹	連絡先E-mail	
住所	039-3393 青森県平内町大字小湊字小湊				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DXに係る全体方針策定等		
概要	どのようにDXに取り組んでいくか、現状の姿やあるべき姿を検討するにあたり、支援を頂きたい。				
支援を求める分野	計画策定支援				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
		有	407	令和7年2月17日	支援・助言
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月2日	支援・助言(実地)	11時00分	15時15分	60
				活動時間(分)	195

2-2. 派遣場所	会場名	平内町役場 本庁舎		最寄駅	小湊駅
	所在地	青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	・BPRやDX推進方針を策定することなどの有益な助言を頂いたため。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	10人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	10	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	ODXの全体方針策定プランの検討について 推進方針の策定にあたり、どのような観点から推進方針を策定し、記載すれば良いかこれまでの活動結果を踏まえて、案を作成したが、漏れや不備がないか不明であった。 OBPR(主として内部業務)の推進について 前回支援を受け、対策可能な課題を作成した。今回はその課題に対する対策をどのように講ずれば良いか話あった。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	ODXの全体方針策定プランの検討について 住民の利便性向上及び、行政サービスの継続的な提供に向けた業務効率化・省力化を実現するための方針を策定する。 OBPR(主として内部業務)の推進について 職員が本来専念すべき企画の立案や、住民へのサポートに専念するための時間を捻出するために業務効率化を実現する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ODXの全体方針策定プランの検討について これまでの活動を踏まえて推進方針(案)を作成した。推進方針(案)に対して、アドバイザーより推進方針における基本となる考え方の説明や、方針において、データの共有・利活用や省力化という側面も追加した方がよいと助言を受けた。その後、参加した職員に対して推進方針(案)に対してどのような観点から確認をすればよいかの指示を受けた。 OBPR(主として内部業務)の推進について 課題に対する対策案について、業務の棚卸しや業務全体の関連性を洗い出し、類似の業務を集約することで効率化にも繋がる旨の説明を受けた。また、デジタルでの効率化を行う場合においてもアナログ規制の見直しが必要であると受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	ODXの全体方針策定プランの検討について 支援を受け、推進方針(案)に関する漏れや不備などがなくなり、庁内の認識共有や機運醸成などに繋がる推進方針(案)が作成できた。 OBPR(主として内部業務)の推進について 対策案ができたことから、今後具体化していきたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑦その他
	DX推進方針(案)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	推進方針(案)を作成できたことから、当初の課題を解決できたと考える。 今後は庁内の関係課に意見照会を行い、正式に策定を行いたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 推進方針策定のため、アンケートの実施の必要性を感じないため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある
	推進方針(案)に基づき、対策案を実施していきたい。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	・業務の効率化や生産性向上を進め、業務時間を捻出し、住民サービス住民の利便性や行政サービスの維持・向上を目指す。その後、住民の利便性の向上の具体的な手段として、オンライン申請の拡充や書かない窓口システムなどの導入等により、来なくても良い、待ち時間の少ない窓口の在り方を目標とする。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

